
富山市民意識調査結果報告書

《概要版》

令和7年8月

富 山 市

目 次

1. 調査の概要	1
2. 富山市での住み良さ	2
① 富山市の住み心地	
② 富山市への定住意識	
③ 富山市に住み続けたい理由	
④ 富山市外へ引っ越したい理由	
⑤ 富山市以外での居住経験	
⑥ 富山市の住み心地(富山市以外の居住経験がある人を対象)	
3. 富山市の印象.....	9
4. 施策の満足度.....	10
5. 今後のまちづくりの重点	17
6. 普段の取組.....	18
7. 人口減少対策.....	19
居住エリア区分図.....	20

この冊子のみかた

- ・ 比率はすべて百分率で表示し、小数第 2 位を四捨五入して表示しているため、グラフや数表中の個々の比率の合計と、合算したあとの割合を示す数値とは一致しない場合がある。
- ・ 複数回答の場合は、比率の合計が100%を上回る。
- ・ Nは各質問に対する回答者総数であり、比率算出の基数である。
- ・ 「R5年度調査」及び「R2年度調査」とは、それぞれ令和5年度及び令和2年度に実施した富山市民意識調査の結果を示す。

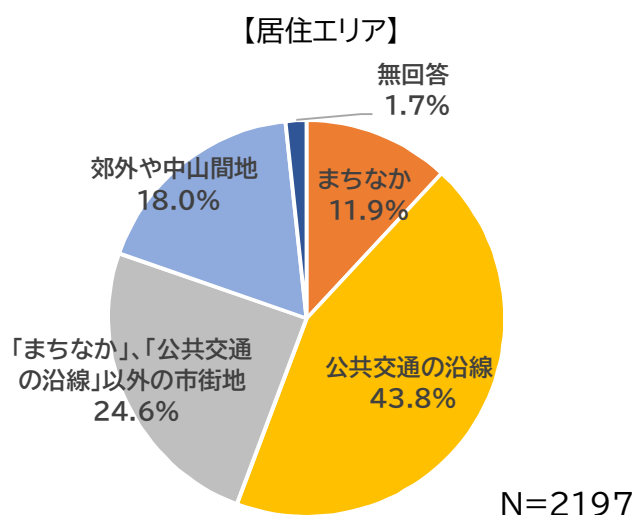
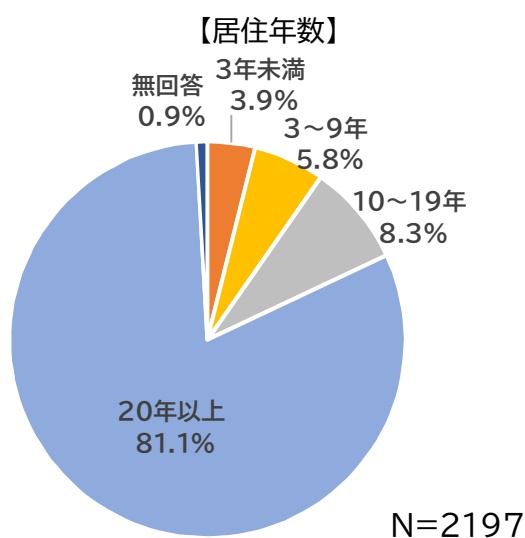
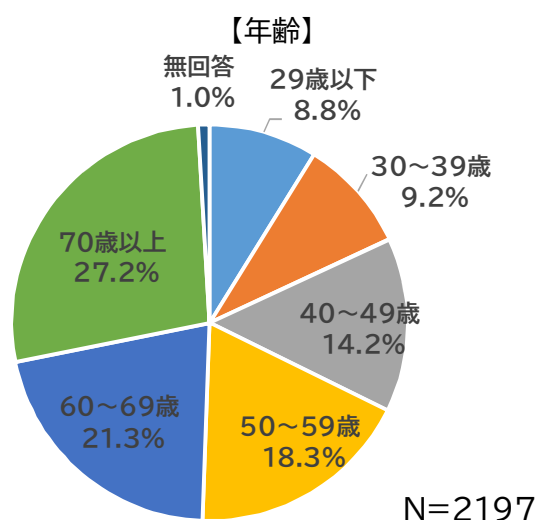
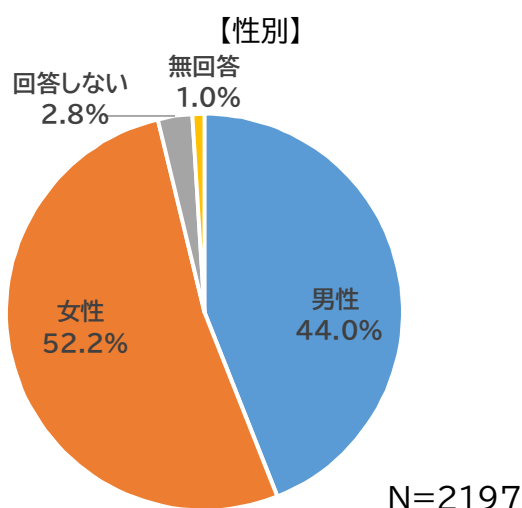
1

調査の概要

富山市は、市の将来像やまちづくりの指針となる『総合計画』を策定し、その施策の推進に努めています。

この意識調査は、市民の皆様へ、施策の満足度や市政への要望などについてのお考えやご意見をお伺いし、今後の総合計画の策定等、市政の推進に反映させていくことを目的に実施しました。

無作為に抽出した18歳以上の市民の皆様5,000人に郵送で依頼し、2,197人の方からご回答をいただき、回収率は43.9%となりました。ご回答いただいた方の内訳は次のとおりです。



【居住地域別の標本数、有効回答数・有効回答率】

	全体	富山地域	大沢野地域	大山地域	八尾地域	婦中地域	山田地域	細入地域	無回答
標本数※	5,000	3,400	300	200	300	600	100	100	-
有効回答数	2,197	1,516	112	85	130	237	43	48	26
有効回答率(%)	43.9	44.6	37.3	42.5	43.3	39.5	43.0	48.0	-

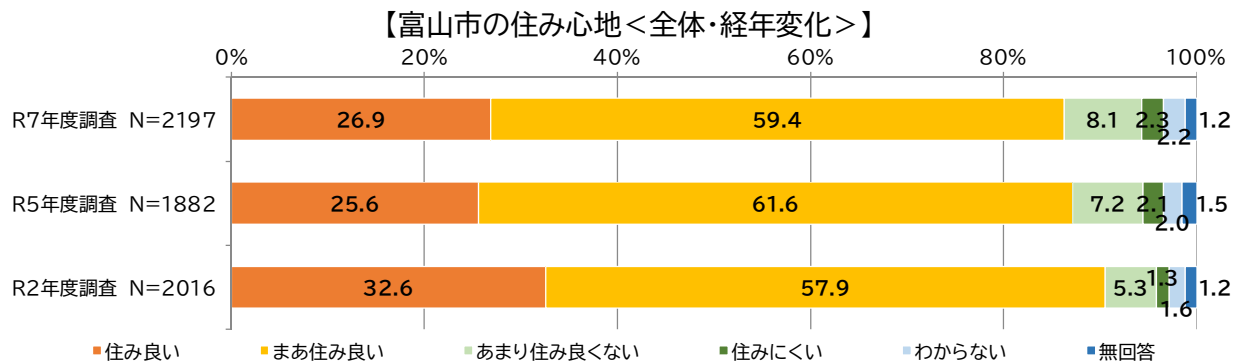
※居住地域別の標本数は、令和6年度末の住民基本台帳に基づき100単位で按分し、100未満となる山田・細入地域は100に切り上げた。

2 富山市での住み良さ

① 富山市の住み心地

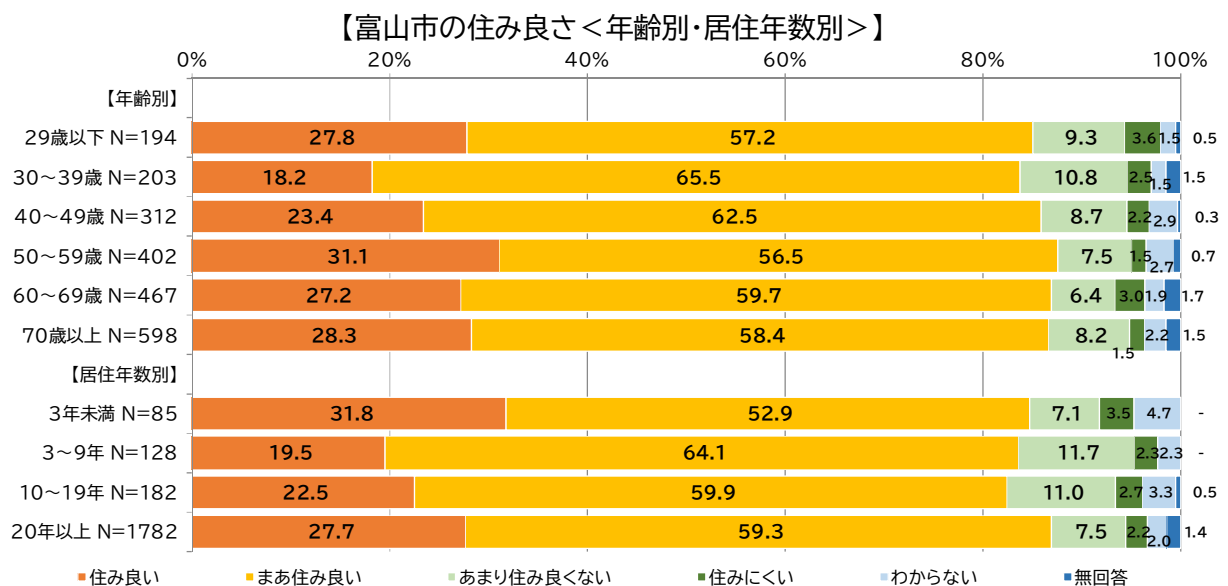
●9割近くが「住み良い」、「まあ住み良い」と感じている

- ・「住み良い」と「まあ住み良い」を合わせた回答割合は、86.3%で、令和5年度調査の87.2%から約1ポイント低下しているものの、依然として高い水準にあります。



●「住み良い」、「まあ住み良い」と回答した割合は、50歳代が高い一方、30歳代が低い

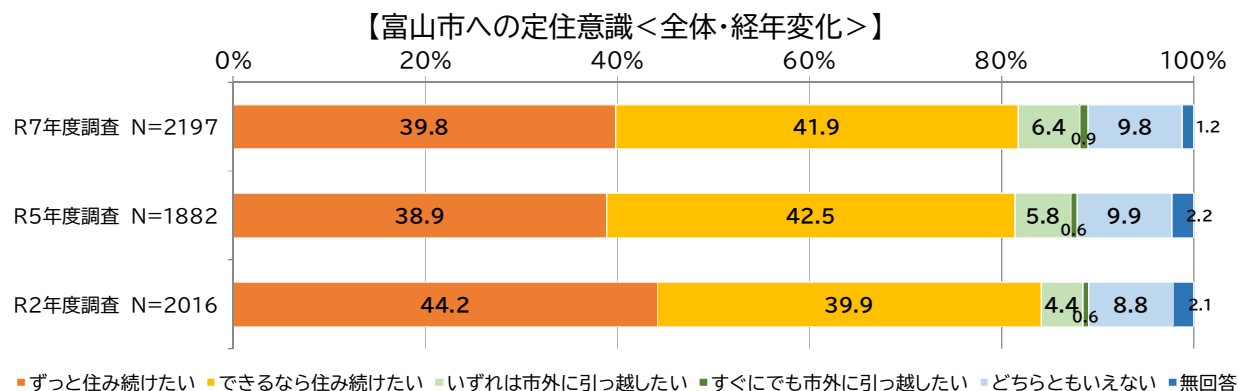
- ・年齢別に見ると、「住み良い」、「まあ住み良い」と回答した割合は、「50～59歳」が87.6%と最も高く、「30～39歳」が83.7%と最も低くなっています。
- ・居住年数別に見ると、「20年以上」の居住者において、「住み良い」、「まあ住み良い」と回答した割合が87.0%と最も高くなっています。



② 富山市への定住意識

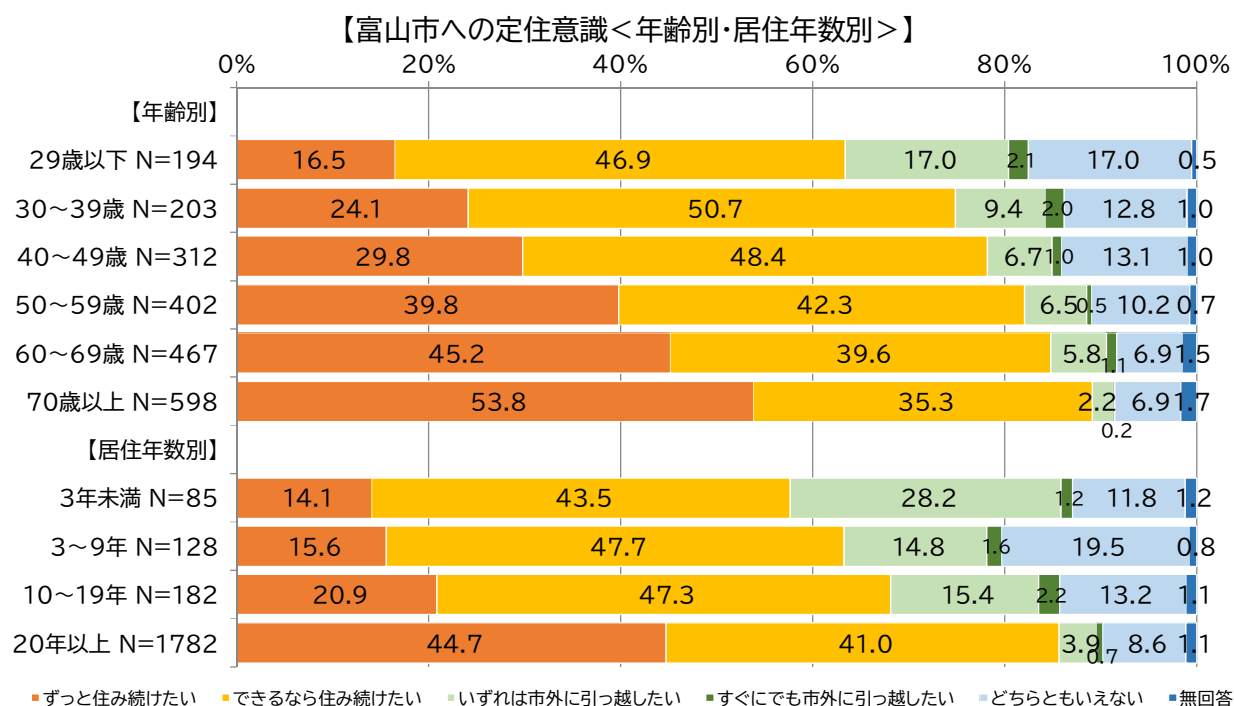
●8割以上が「ずっと住み続けたい」、「できるなら住み続けたい」と回答

- ・「ずっと住み続けたい」と「できるなら住み続けたい」を合わせた回答割合は、81.7%と、令和5年度調査と大きな変化はありません。



●居住年数が長いほど定住意識も強い

- ・年齢別に見ると、「ずっと住み続けたい」と回答した割合は、年齢が上がるほど高くなっています。
- ・居住年数別に見ると、居住年数が長いほど「ずっと住み続けたい」と回答した割合も高く、「3年未満」の居住者に比べて「20年以上」の居住者が30.6ポイント高くなっています。



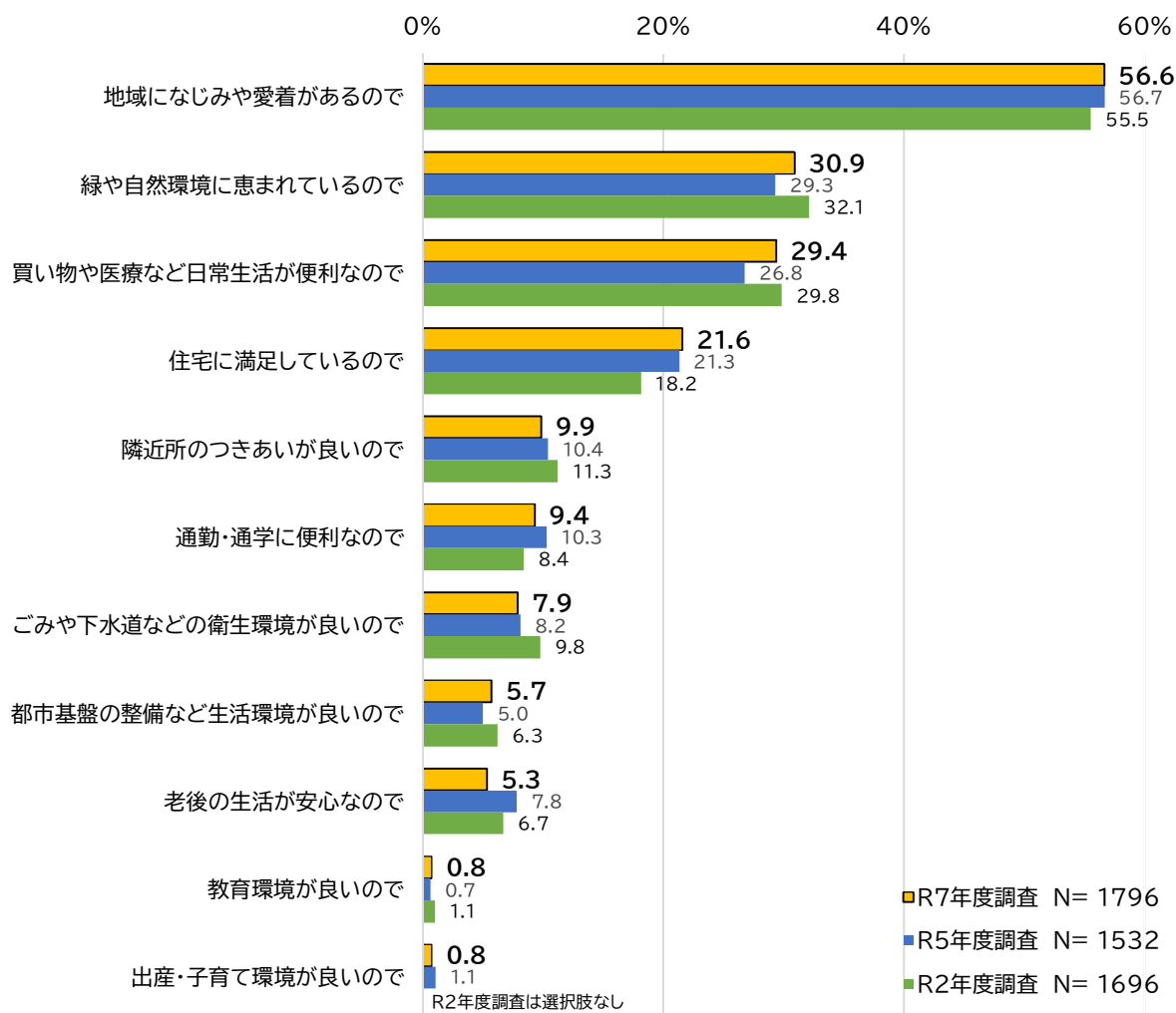
③ 富山市に住みたい理由

(P3②の質問で、「ずっと住みたい」、「できるなら住みたい」と回答した方に伺いました)

●「地域へのなじみや愛着」が定住意識を高めている

- ・住みたい理由としては、「地域になじみや愛着があるので」が最も高く56.6%で、続く「緑や自然環境に恵まれているので」よりも25.7ポイント高くなっています。

【富山市に住みたい理由＜全体・経年変化＞】



※「その他」、無回答は表示していない

※複数回答（2つまで）

●居住年数が短いちは「日常生活の便利さ」を重視

- ・年齢別に見ると、いずれの年代も「地域になじみや愛着があるので」とした理由が最も割合が高くなっています。次いで「緑や自然環境に恵まれているので」との回答が続く年代が多い一方、「30～39歳」では「住宅に満足しているのが」、「70歳以上」では「買い物や医療など日常生活が便利なので」が2位となっています。
- ・居住年数別に見ると、10年以上の居住者は、「地域になじみや愛着があるので」という回答割合が高くなっています。
- ・居住エリア区分別に見ると、「まちなか」や「公共交通の沿線」では、「買い物や医療など日常生活が便利なので」が他の居住エリアに比べて高くなっています。

【富山市に住み続けたい理由＜年齢別・居住年数別・居住エリア区分別＞】

(%)

		回答者数(N)	地域になじみや愛着がある	緑や自然環境に恵まれている	買い物や医療など日常生活が便利なので	住宅に満足している	で隣近所のつきあい	通勤・通学に便利	境が良好な下道などの衛生環境	都市基盤の整備など生活環境	老後の生活が安心	教育環境が良好	で出産・子育て環境が良好
全体		1,796	56.6	30.9	29.4	21.6	9.9	9.4	7.9	5.7	5.3	0.8	0.8
年齢別	29歳以下	123	57.7	35.8	22.8	17.9	7.3	17.1	4.1	9.8	1.6	1.6	1.6
	30～39歳	152	54.6	29.6	28.3	30.3	5.9	17.1	4.6	3.3	3.9	1.3	3.3
	40～49歳	244	58.2	30.3	29.1	21.3	6.1	15.2	5.3	5.3	1.6	2.0	0.8
	50～59歳	330	57.9	34.5	24.8	21.8	6.4	12.7	4.8	5.2	1.8	0.6	1.2
	60～69歳	396	57.3	29.0	29.0	20.5	9.3	7.6	8.1	7.8	7.8	0.0	0.3
	70歳以上	533	54.2	30.0	34.7	21.2	16.1	1.9	12.9	4.5	8.6	0.6	0.0
居住年数別	3年未満	49	16.3	40.8	38.8	30.6	8.2	38.8	10.2	24.5	2.0	4.1	0.0
	3～9年	81	23.5	29.6	46.9	29.6	3.7	21.0	3.7	11.1	3.7	3.7	6.2
	10～19年	124	40.3	33.9	31.5	25.8	5.6	12.1	6.5	7.3	4.8	2.4	2.4
	20年以上	1,527	60.8	30.4	28.2	20.7	10.6	7.5	8.3	4.7	5.6	0.4	0.4
居住エリア区分別	まちなか	211	52.6	20.4	41.7	18.5	4.3	16.1	6.2	12.8	9.0	1.9	0.5
	公共交通の沿線	801	51.6	29.1	37.0	21.3	8.2	11.5	8.9	7.5	5.4	0.9	0.7
	上記以外の市街地	428	60.7	30.8	25.0	26.2	9.3	7.0	6.8	2.1	3.5	0.2	0.9
	郊外や中山間地	326	66.3	42.9	9.2	19.6	17.2	3.1	8.6	1.5	4.9	0.6	0.9

※「その他」、無回答は表示していない

※各属性■は第一位の回答、■は第二位の回答

※複数回答（2つまで）

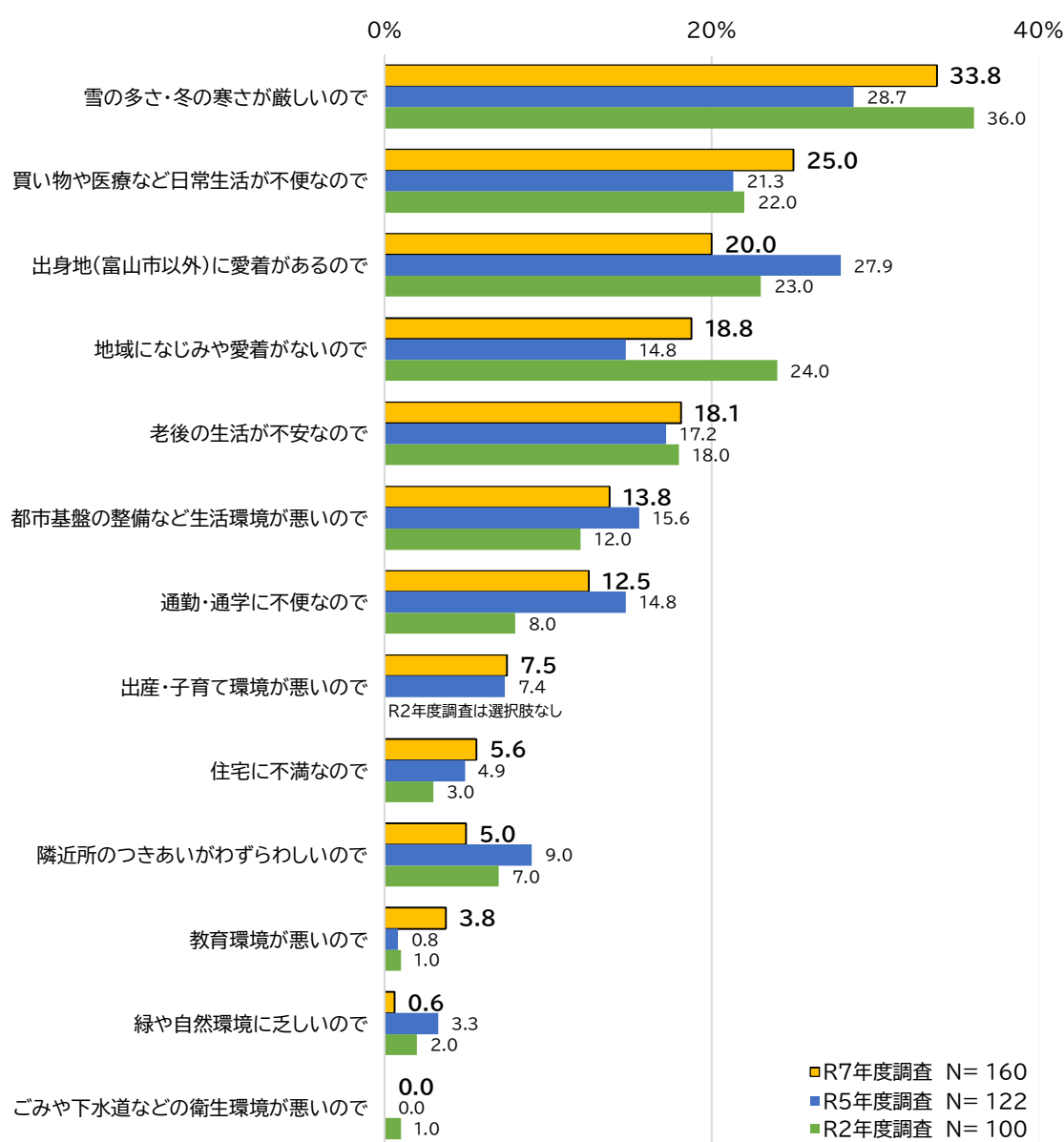
④ 富山市外へ引っ越したい理由

(P3②の質問で、「いずれは市外に引っ越したい」、「すぐにでも市外に引っ越したい」と回答した方に伺いました)

●「雪の多さ・冬の寒さ」が引っ越したい第一の理由

- ・引っ越したい理由としては、「雪の多さ・冬の寒さが厳しいので」が33.8%で最も高く、令和5年度調査に比べて5.1ポイント高くなっています。「買い物や医療など日常生活が不便なので」が25.0%が続いています。
- ・令和5年度調査で2位だった「出身地(富山市以外)に愛着があるので」は3位となり、前回より7.9ポイント低くなっています。

【富山市外へ引っ越したい理由<全体・経年変化>】



※「その他」、無回答は表示していない

※複数回答(2つまで)

●40歳代は「通勤・通学に不便なので」、「郊外や中山間地」においては「買い物や医療など日常生活が不便なので」と回答した割合が高い

- ・年齢別に見ると、「雪の多さ・冬の寒さが厳しいので」と回答した年代が多い一方、「29歳以下」では「地域になじみや愛着がないので」が29.7%で最も高くなっています。
- ・居住年数別に見ると、「3～9年」、「20年以上」では「雪の多さ・冬の寒さが厳しいので」が最も高く、「3年未満」では「出身地(富山市以外)に愛着があるので」、「10～19年」では「老後の生活が不安なので」が最も高くなっています。
- ・居住エリア別に見ると、「郊外や中山間地」において、「買い物や医療など日常生活が不便なので」が44.0%と最も高くなっています。

【富山市外へ引っ越したい理由＜年齢別・居住年数別・居住エリア区分別＞】

		回答者数（N）	(%)													
			雪の多さ・冬の寒さが厳しいので	買い物が不便なので	着がある（富山市以外）に愛	出身地（富山市以外）に愛	地域になじみや愛着がない	老後の生活が不安なので	境が悪いので	都市基盤の整備など生活環	通勤・通学に不便なので	で出産・子育て環境が悪いの	住宅に不満なので	近所のつきあいがわずら	教育環境が悪いので	緑や自然環境に乏しいので
全体		160	33.8	25.0	20.0	18.8	18.1	13.8	12.5	7.5	5.6	5.0	3.8	0.6	0.0	
年齢別	29歳以下	37	24.3	21.6	27.0	29.7	2.7	13.5	16.2	10.8	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	30～39歳	23	34.8	26.1	13.0	21.7	13.0	4.3	8.7	26.1	4.3	4.3	4.3	0.0	0.0	
	40～49歳	24	33.3	16.7	4.2	8.3	29.2	16.7	33.3	8.3	8.3	12.5	8.3	0.0	0.0	
	50～59歳	28	32.1	17.9	28.6	21.4	17.9	17.9	3.6	0.0	3.6	7.1	10.7	3.6	0.0	
	60～69歳	32	40.6	31.3	21.9	12.5	25.0	12.5	6.3	0.0	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	
	70歳以上	14	50.0	42.9	14.3	14.3	35.7	21.4	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	
居住年数別	3年未満	25	16.0	20.0	56.0	24.0	4.0	12.0	8.0	12.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	3～9年	21	47.6	19.0	28.6	42.9	9.5	4.8	4.8	14.3	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
	10～19年	32	21.9	25.0	9.4	15.6	34.4	18.8	28.1	9.4	0.0	3.1	12.5	0.0	0.0	
	20年以上	81	40.7	28.4	11.1	12.3	18.5	14.8	9.9	3.7	6.2	8.6	2.5	1.2	0.0	
居住エリア区分別	まちなか	24	25.0	33.3	37.5	25.0	4.2	8.3	8.3	4.2	4.2	4.2	4.2	0.0	0.0	
	公共交通の沿線	61	34.4	14.8	23.0	21.3	11.5	14.8	11.5	8.2	9.8	4.9	4.9	0.0	0.0	
	上記以外の市街地	49	34.7	24.5	16.3	12.2	26.5	16.3	16.3	12.2	2.0	6.1	4.1	2.0	0.0	
	郊外や中山間地	25	40.0	44.0	4.0	20.0	32.0	12.0	12.0	0.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	

※「その他」、無回答は表示していない

※各属性■は第一位の回答、■は第二位の回答

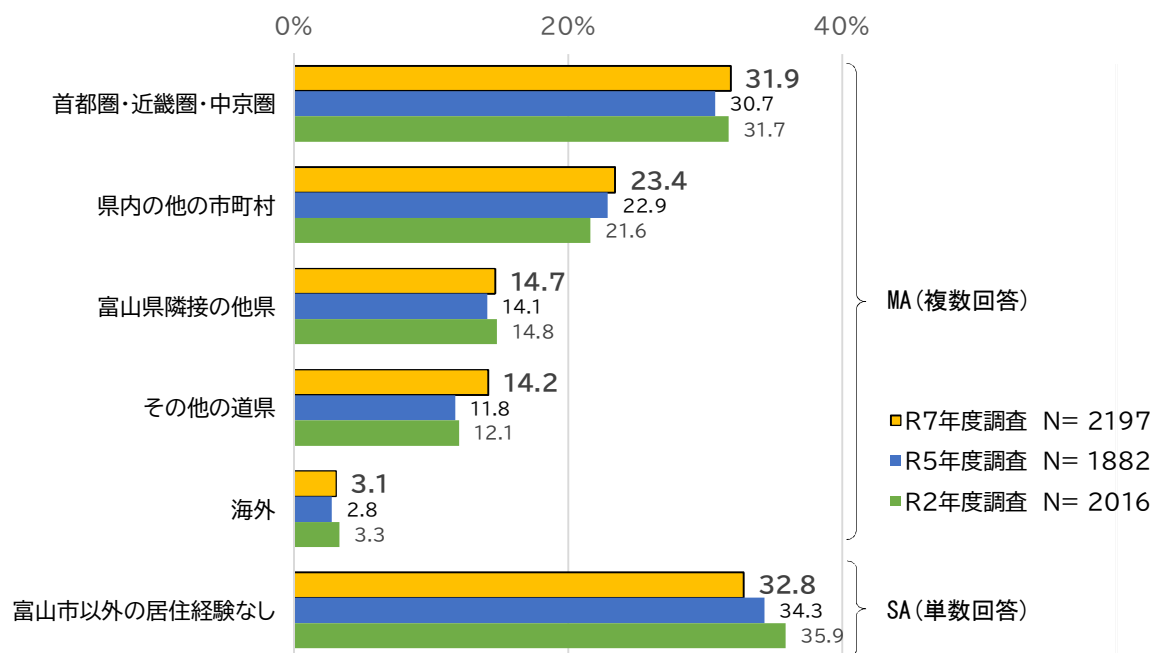
※複数回答（2つまで）

⑤ 富山市以外での居住経験

●3大都市圏(首都圏・近畿圏・中京圏)での居住経験者が多い

- ・約3割が「首都圏・近畿圏・中京圏」での居住経験があると回答しています。
- ・「富山市以外の居住経験なし」は32.8%で、令和5年度調査から1.5ポイント低下しています。

【富山市以外の居住経験＜全体・経年変化＞】

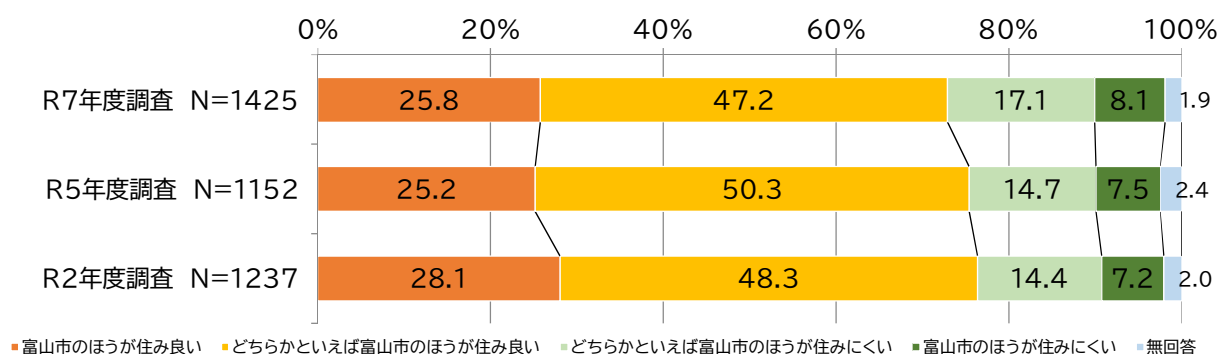


⑥ 富山市の住み心地(富山市以外の居住経験がある人を対象)

●7割が『富山市のほうが住み良い』と回答

- ・富山市以外での居住経験がある人のうち、73.0%が「富山市のほうが住み良い」または「どちらかといえば富山市のほうが住み良い」と回答しています。

【富山市との住み良さの比較＜全体・経年変化＞】



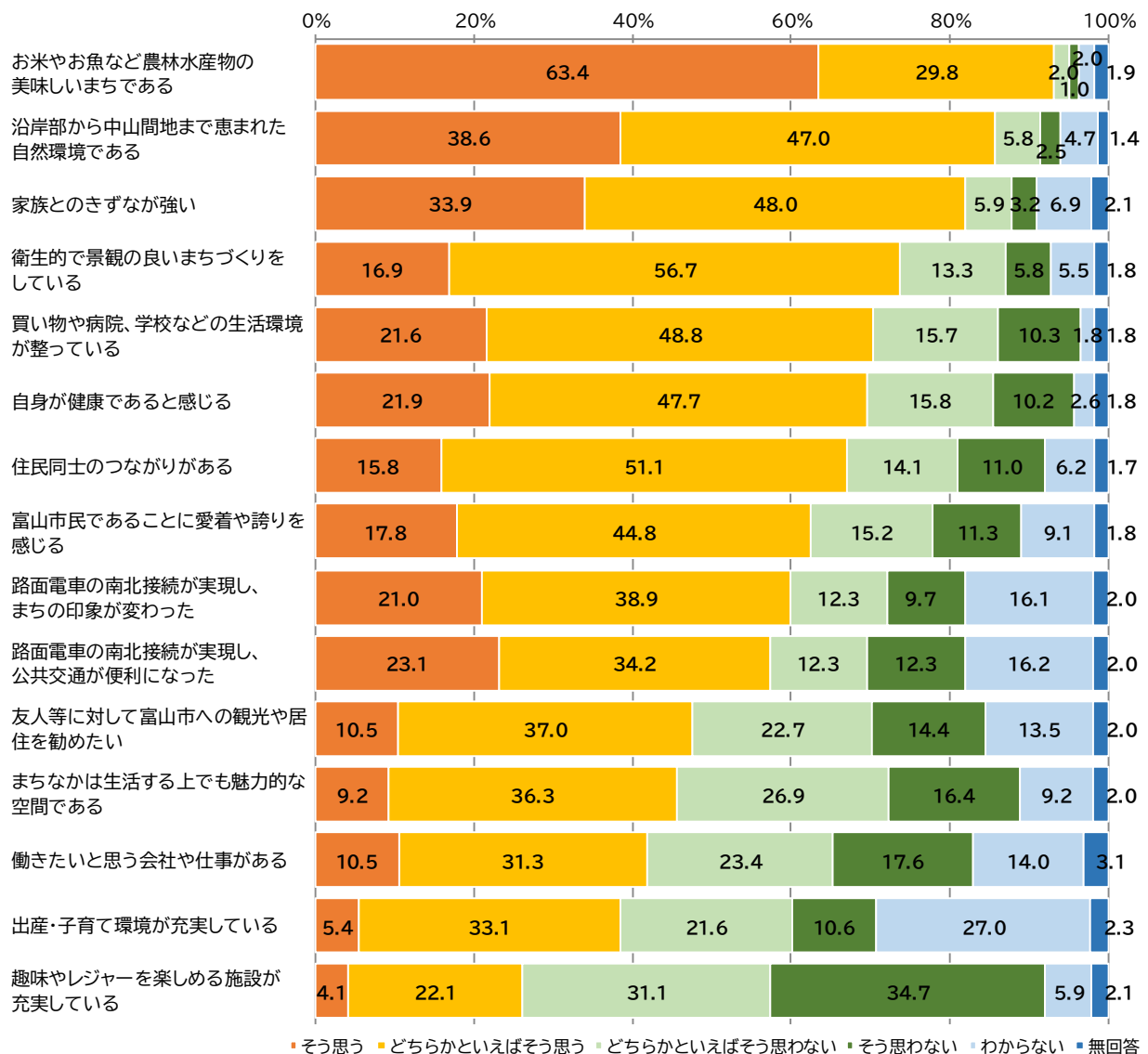
3 富山市の印象

市民の皆様が抱いている富山市の印象について15項目を回答いただきました。

●「農林水産物」や「自然環境」への印象が強く、「趣味やレジャー施設の充実」への印象が弱い

- ・「お米やお魚など農林水産物の美味しいまちである」の項目に対して、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が93.2%と最も高くなっています。続いて「沿岸部から中山間地まで恵まれた自然環境である」と回答した割合が85.6%となっています。
- ・一方、「趣味やレジャーを楽しめる施設が充実している」の項目に対して、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答した割合が65.8%となっています。

【富山市の印象＜全体＞】



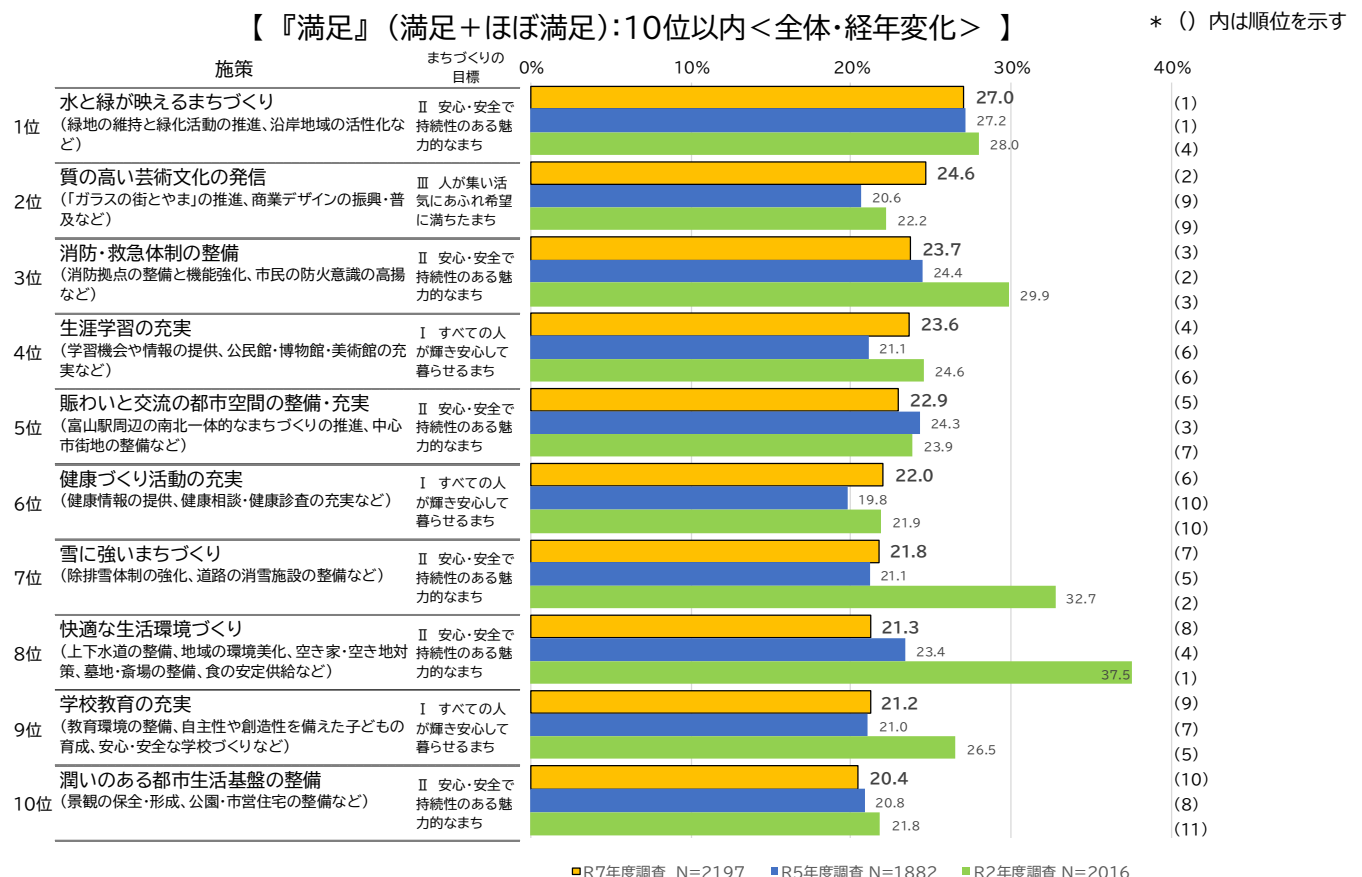
4 施策の満足度

富山市では、4つの“まちづくりの目標”のもと、51の施策を設定して第2次富山市総合計画を推進しています。この51の施策について、市民の皆様の満足度をお尋ねしました。

回答項目として満足度5段階（満足－ほぼ満足－普通－やや不満－不満）と「わからない」を設定し、このうちの「満足」と「ほぼ満足」を合わせて『満足』、「やや不満」と「不満」を合わせて『不満』として順位をつけました。そのうち、10位以内の項目は次のとおりです。

●「水と緑が映えるまちづくり」、「質の高い芸術文化の発信」の順に満足度が高い

- ・『満足』の割合が高い施策について見ると、「水と緑が映えるまちづくり」が27.0%で最も高く、次いで「質の高い芸術文化の発信」、「消防・救急体制の整備」となっています。
- ・令和5年度調査で9位の「質の高い芸術文化の発信」は、今回は2位と順位を上げています。一方、令和5年度調査で4位(令和2年度調査では1位)の「快適な生活環境づくり」が8位へ順位を下げています。

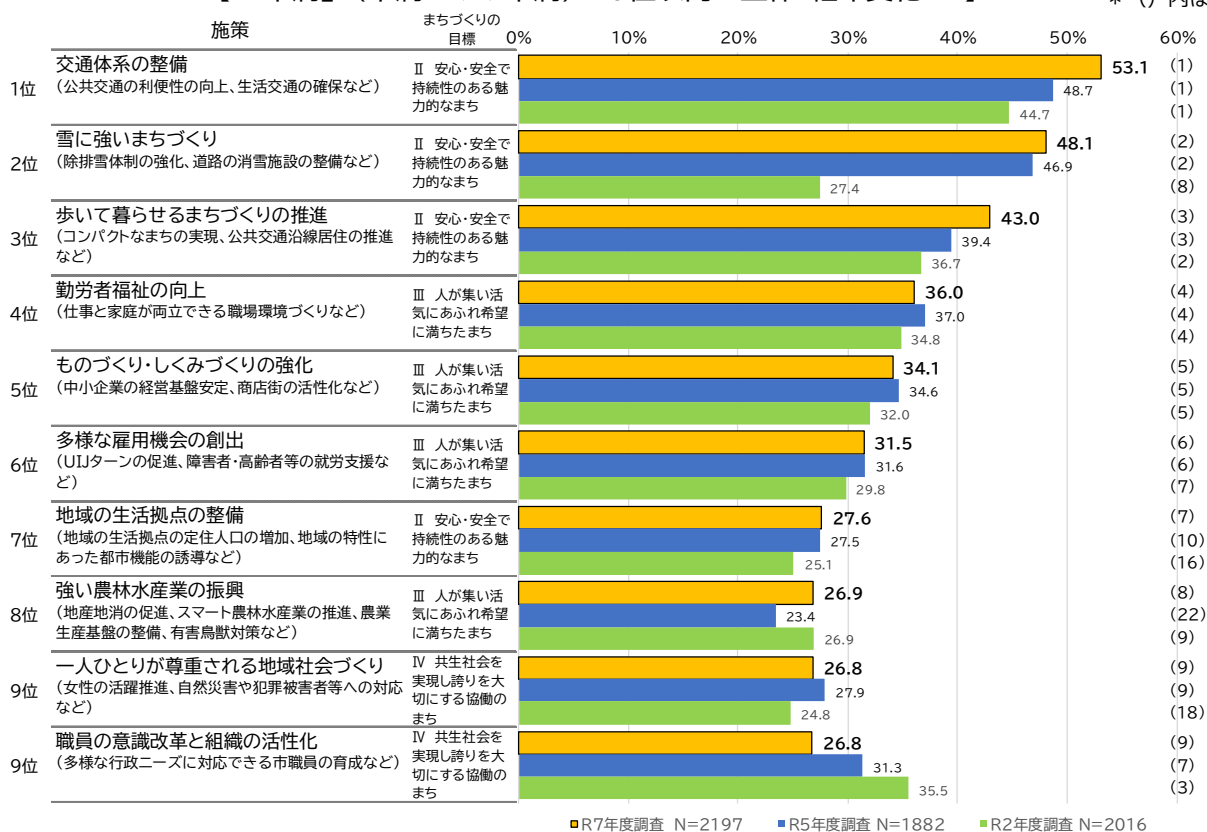


●「交通体系の整備」、「雪に強いまちづくり」、「歩いて暮らせるまちづくりの推進」の順に不満度が高い

- ・『不満』の割合が高い施策について見ると、6位までは令和5年度調査と順位は変わらず、前回調査で1位の「交通体系の整備」が53.1%で最も高く、次いで「雪に強いまちづくり」、「歩いて暮らせるまちづくりの推進」の順となっています。
- ・「強い農林水産業の振興」は令和5年度調査の22位から8位へ、「地域の生活拠点の整備」は10位から7位へ順位が上がっています。

【『不満』（不満+やや不満）：10位以内＜全体・経年変化＞】

* () 内は順位を示す



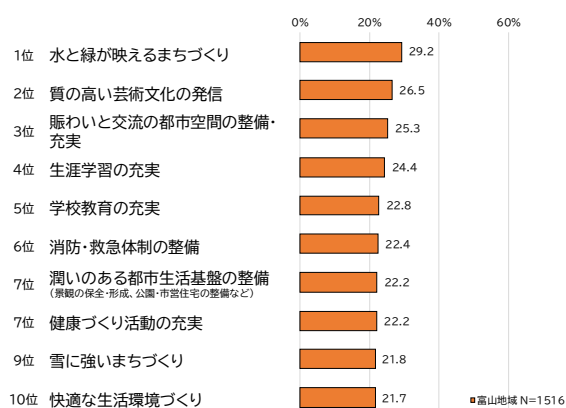
◇ 居住地域別の施策の満足度（10位以内）

● 地域の特徴が表れる施策の満足度

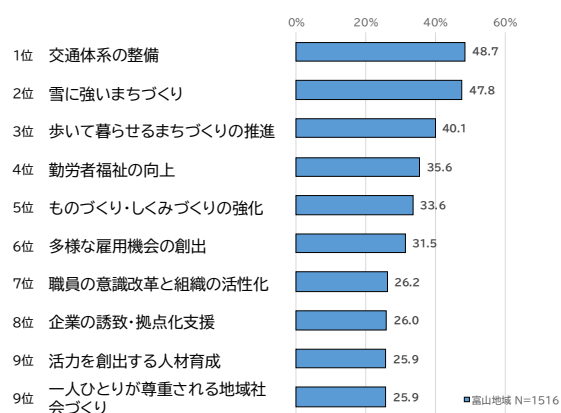
- ・『満足』について見ると、全体で満足度が高い「水と緑が映えるまちづくり」が「富山地域」と「大山地域」で1位となっています。また、全体で3位となっている「消防・救急体制の整備」は、「婦中地域」、「山田地域」「細入地域」で1位となっています。
- ・『不満』について見ると、「交通体系の整備」が、「山田地域」以外の6地域で1位となっています。また、「中山間地域の振興」は「富山地域」、「婦中地域」以外の5地域で4位以内に入っています。

富山地域

『満足』

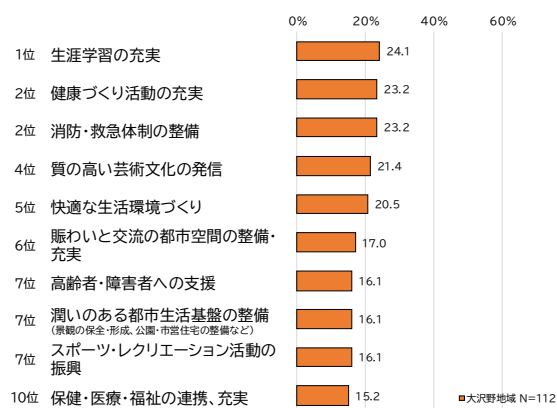


『不満』

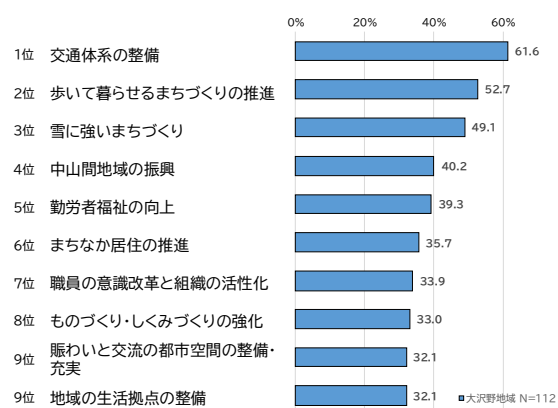


大沢野地域

『満足』

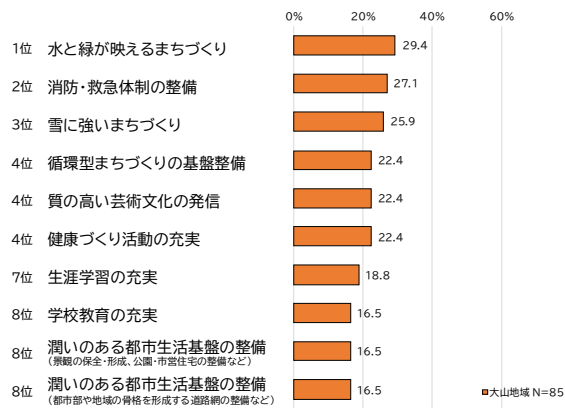


『不満』

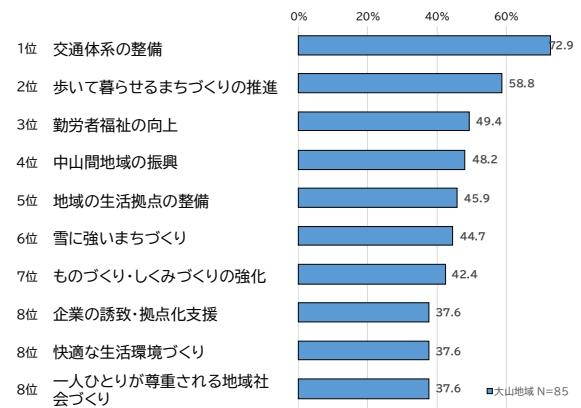


大山地域

『満足』

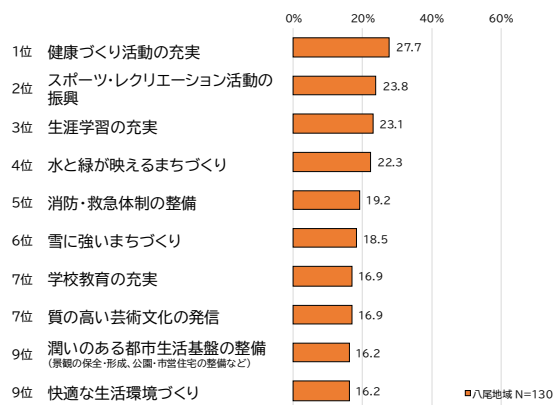


『不満』

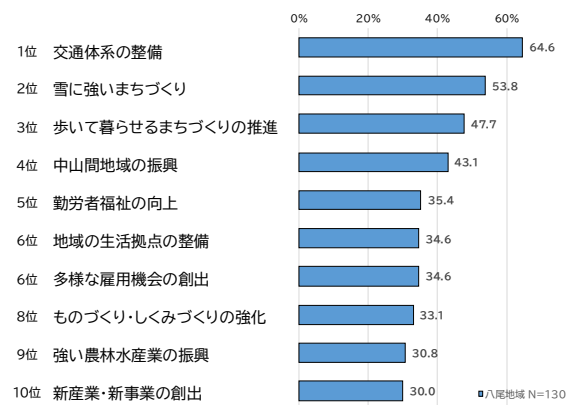


八尾地域

『満足』

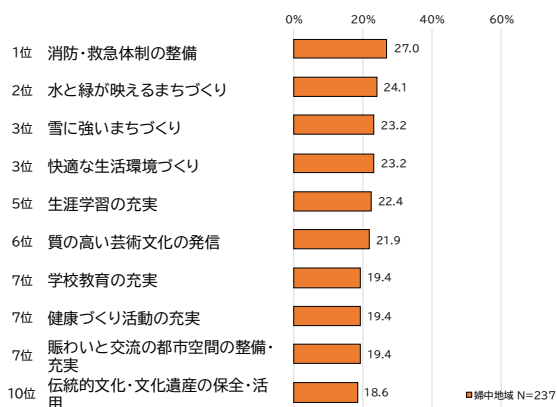


『不満』

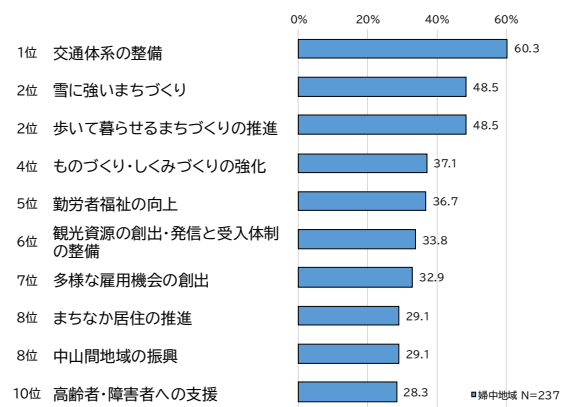


婦中地域

『満足』

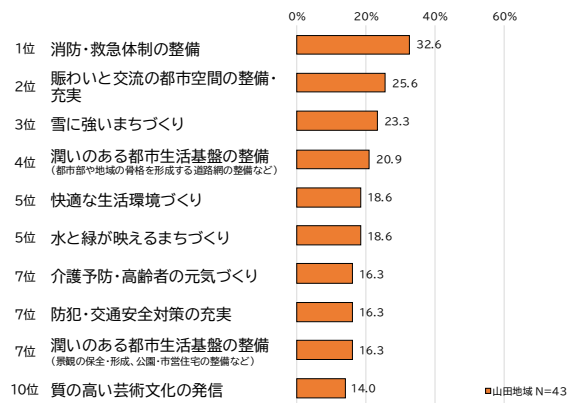


『不満』

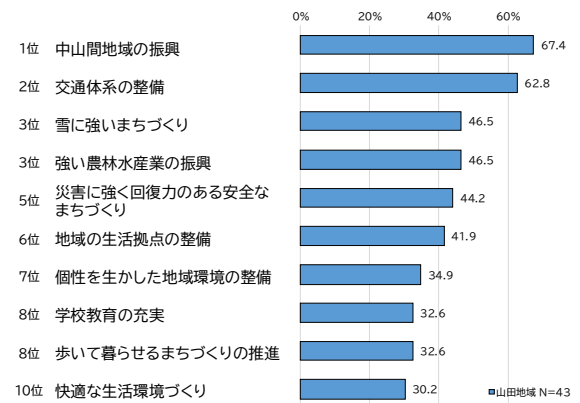


山田地域

『満足』

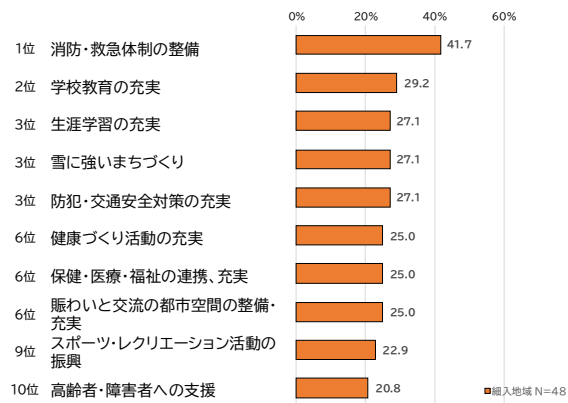


『不満』

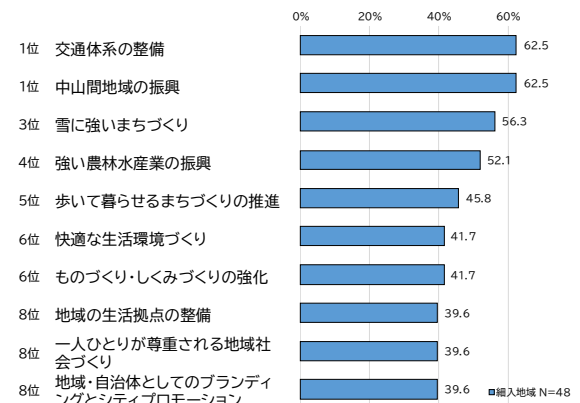


細入地域

『満足』



『不満』



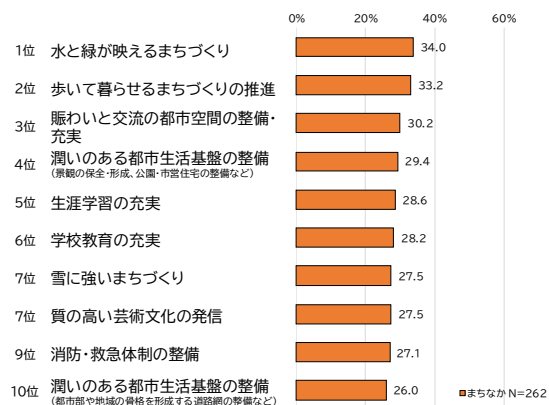
◇ 居住エリア別の施策の満足度（10位以内）

● 地域の特性が表れる施策の満足度

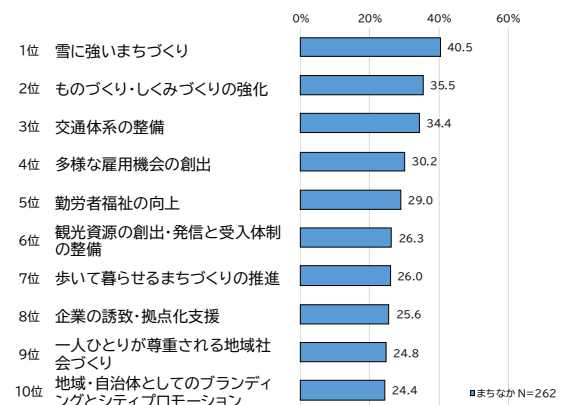
- ・『満足』について見ると、「まちなか（都心地区）」では、全体で10位以内に入っていない「歩いて暮らせるまちづくりの推進」が2位となっています。「郊外や中山間地」では、「消防・救急体制の整備」が1位、「雪に強いまちづくり」が2位となっています。
- ・『不満』について見ると、「まちなか（都心地区）」以外では「交通体系の整備」が1位となっており、特に「郊外や中山間地」では64.8%と他の居住エリアに比べて高くなっています。

まちなか（都心地区）

『満足』

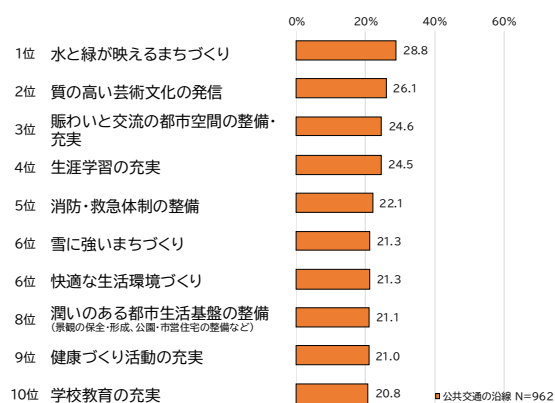


『不満』

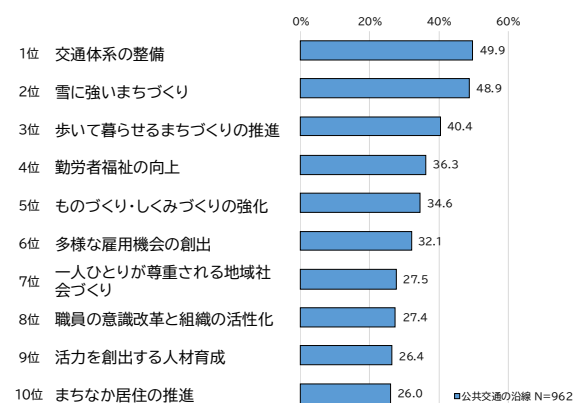


公共交通の沿線（公共交通沿線地区）

『満足』

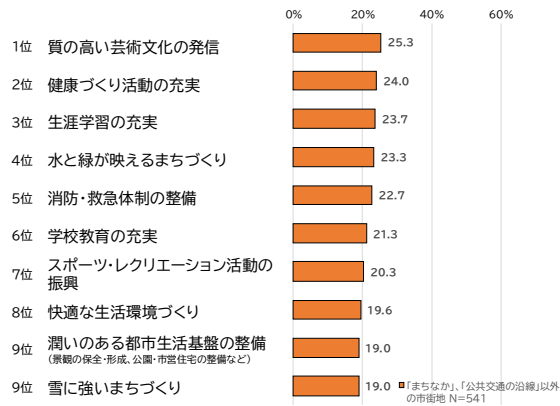


『不満』

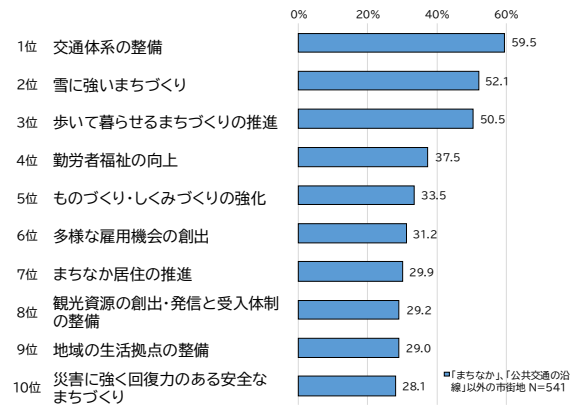


「まちなか」、「公共交通の沿線」以外の市街地(用途地域が定められている区域)

『満足』

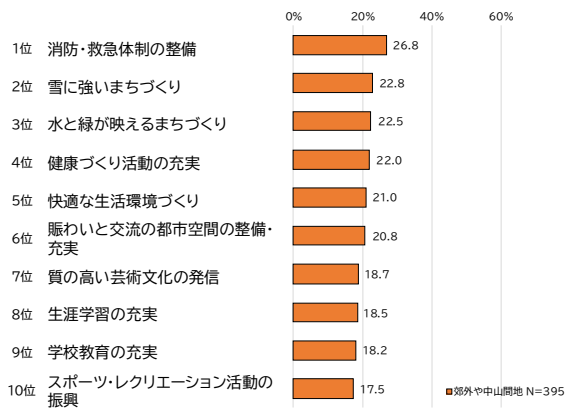


『不満』

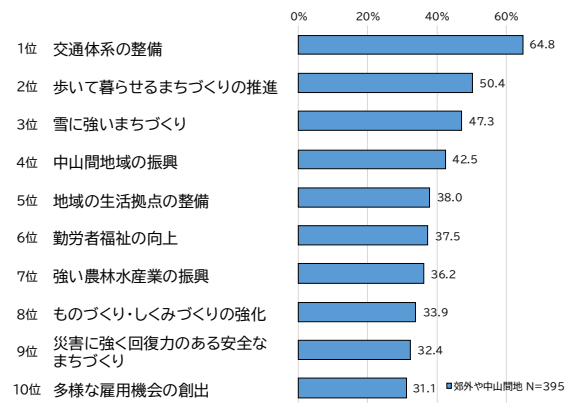


郊外や中山間地

『満足』



『不満』

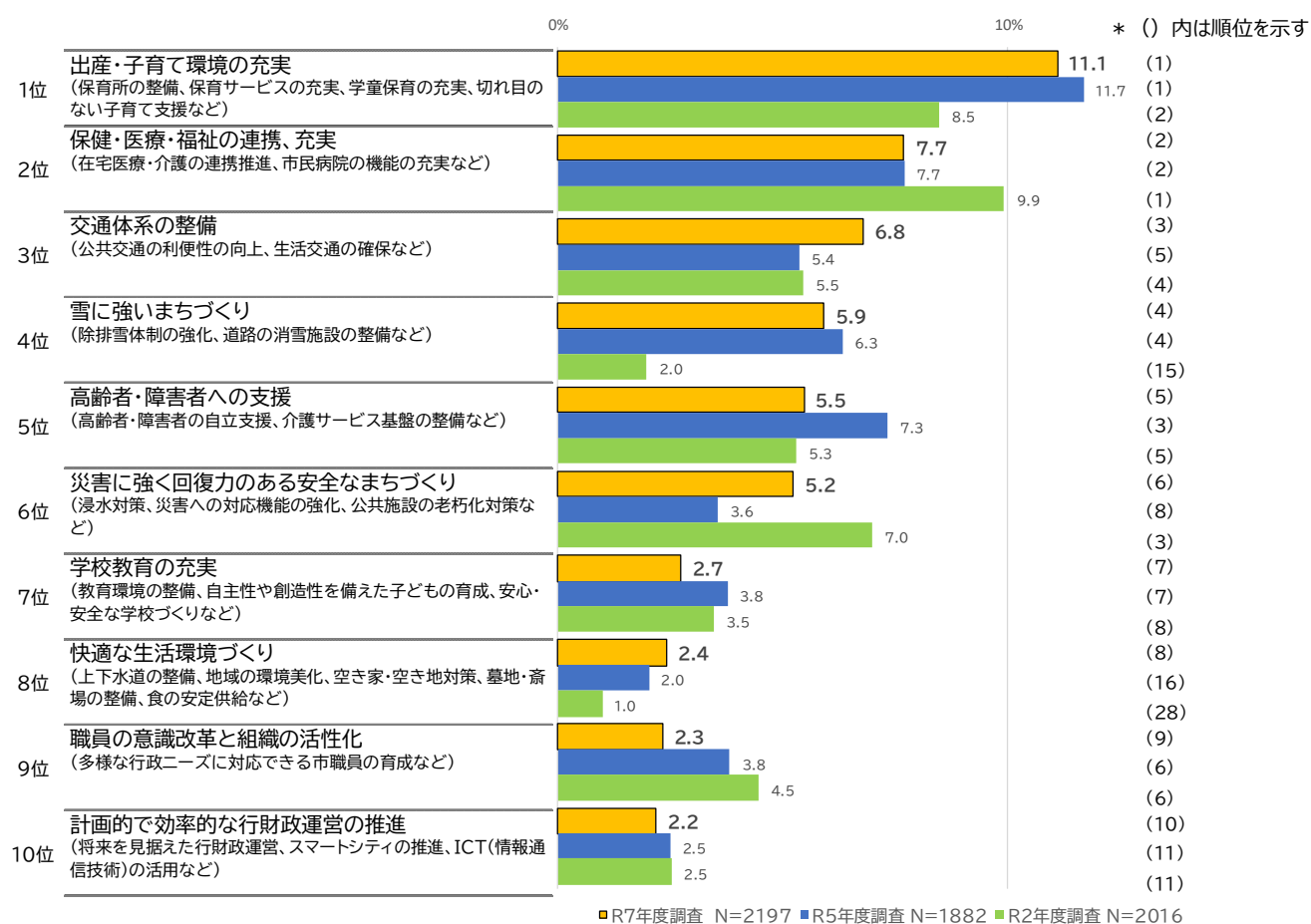


5 今後のまちづくりの重点

第2次富山市総合計画の51の施策のうち、最も重点的に取り組むべきであると思うものを、1つだけ選んで回答いただきました。そのうち、10位以内の項目は次のとおりです。

●「出産・子育て環境の充実」を最も重視

- ・令和5年度調査と同じく「出産・子育て環境の充実」が最も高く、次いで3.4ポイント差で「保健・医療・福祉の連携、充実」となっています。
- ・8位の「快適な生活環境づくり」は、令和2年度調査では28位、令和5年度調査では16位となっており、前回調査から順位が高くなっています。

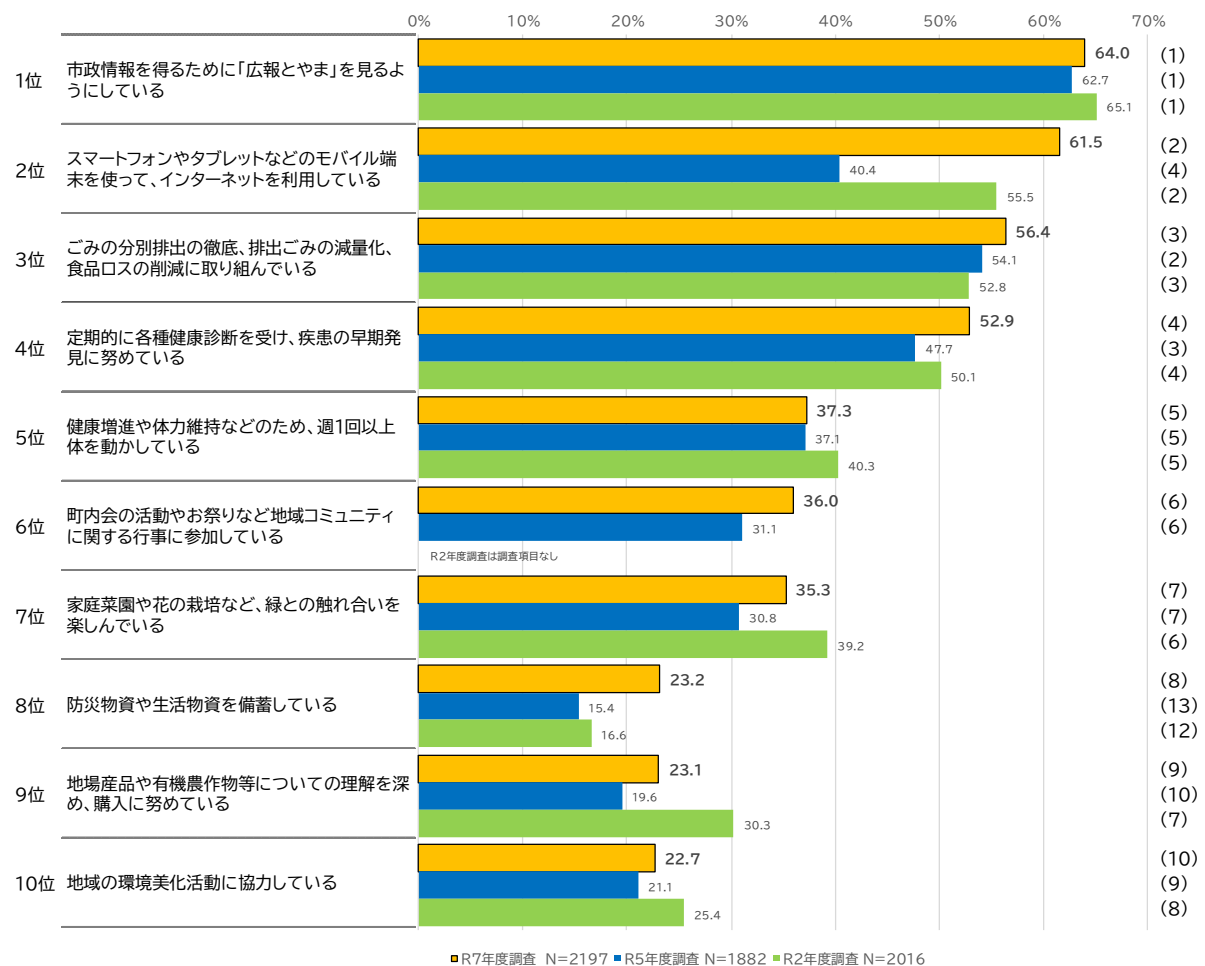


6 普段の取組

市民の皆様が普段から行っている取組について24の項目から選んで回答いただきました。そのうち、10位以内の項目は次のとおりです。

●6割以上が「広報とやま」を見るようにしている

- ・上位の7項目は、令和5年度調査から引き続き同様の取組が占めており、「市政情報を得るために「広報とやま」を見るようにしている」が最も高くなっています。
- ・令和2年度調査では12位、令和5年度調査では13位だった「防災物資や生活物資を備蓄している」は8位となっています。



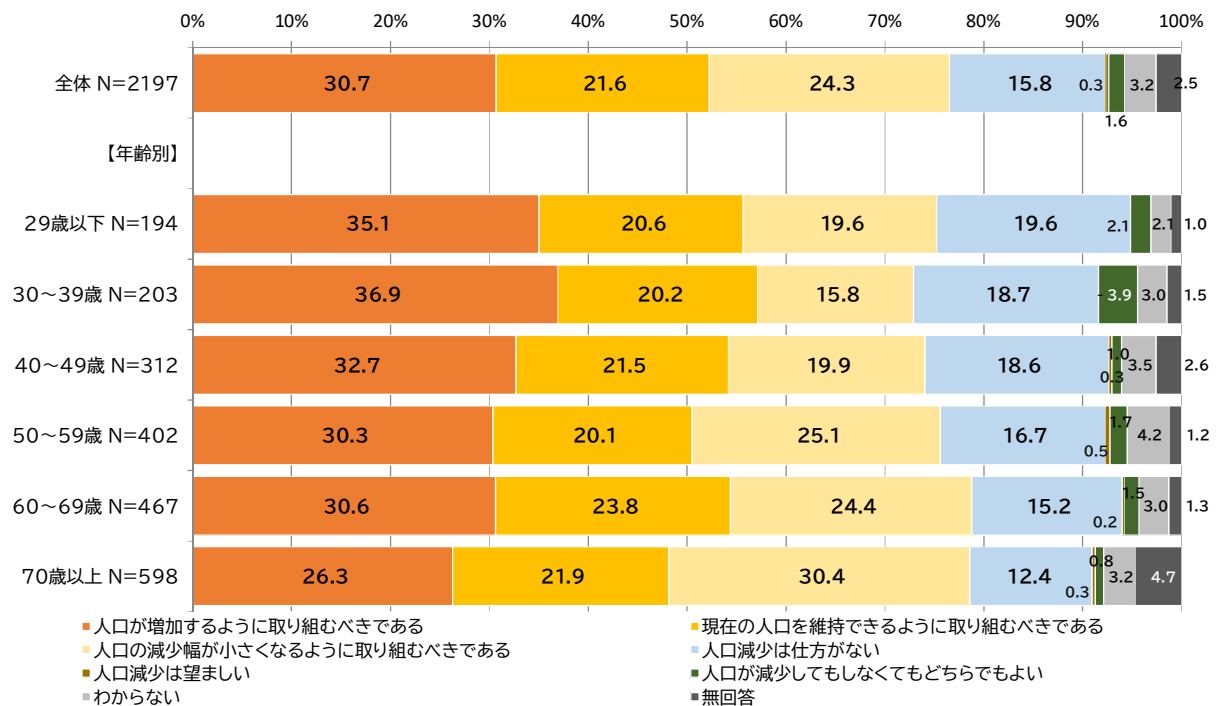
※複数回答（いくつでも）

7 人口減少対策

① 人口減少に対する意識

●7割以上が人口減少に対する取組が必要と回答

- ・「人口が増加するように取り組むべきである」が30.7%で最も高く、「人口の減少幅が小さくなるように取り組むべきである」が24.3%、「現在の人口を維持できるように取り組むべきである」が21.6%と、合計すると76.6%となります。



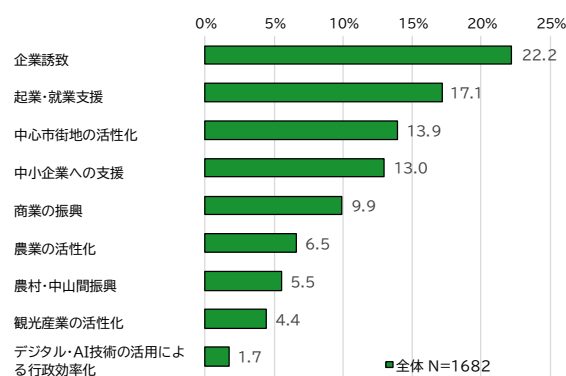
② 人口減少に対する優先的に取り組むべきこと

(①の質問で、「人口が増加するように取り組むべきである」、「現在の人口を維持できるように取り組むべきである」、「人口の減少幅が小さくなるように取り組むべきである」と回答した方に伺いました)

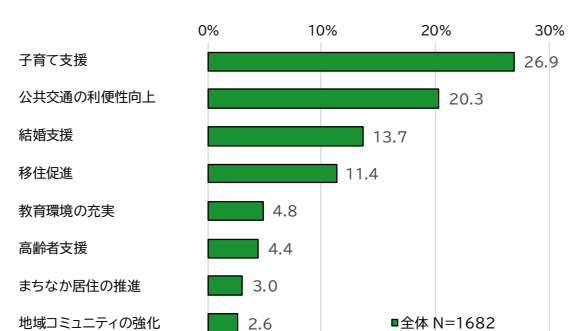
●「企業誘致」や「子育て支援」への取組の優先度が高い

- ・まちづくり・産業分野では「企業誘致」が22.2%で最も高く、生活分野では「子育て支援」が最も高くなっています。

まちづくり・産業分野で優先的に取り組むべきこと



生活分野で優先的に取り組むべきこと



※ともに単数回答

◇居住エリア区分図

